

平成20年度

社団法人日本建設機械化協会 会長賞の決定

本協会では創立40周年を記念して、平成元年より会長賞表彰制度を創設いたしました。その目的は、「日本の建設事業における機械化に関して、調査研究、技術開発、実用化等により、その発展に顕著に寄与したと認められる業績を表彰する」ことにあります。

平成20年度会長賞の公募は、昨年12月より本年1月まで実施し、会長賞選考委員会（委員長：深川良一 立命館大学理工学部教授）において応募9件の中から次の5件の技術が選定されました。

会長賞，貢献賞，奨励賞，選考委員会賞の受賞技術及び受賞者

■会長賞

- ・キャビテーション噴流技術を用いた高速清掃装置
株式会社高速道路総合技術研究所

■貢献賞

- ・超長距離小口径シールド機における機械式地中接合法
鹿島建設株式会社

■貢献賞

- ・人道支援のための対人地雷除去機の開発
株式会社小松製作所

■奨励賞

- ・「石綿含有吹付け材除去作業専用台車」の開発と実用化
東京地下鉄株式会社／大成建設株式会社

■選考委員会賞

- ・VSPでも安心して使用できる簡易操作型歩道除雪車の開発
国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所

■受賞者の表彰式は、5月27日（火）虎ノ門パストラルで開催された日本建設機械化協会平成20年度第59回通常総会に引き続いて行われ、賞状、記念の楯及び副賞が各受賞者に贈られました。



会長賞受賞者（株）高速道路総合技術研究所の表彰



会長賞，貢献賞，奨励賞，選考委員会賞を受賞した皆さま

ここに受賞された技術の概要を紹介します。